

## ニカラグア定期報告（2021年6月）

### 【要旨】

11月の大統領選挙を前に、クリスティアナ・チャモロ氏などの野党大統領候補者5名を含む20名の反政府関係者が逮捕・自宅軟禁された。米国財務省はニカラグア政府関係者4名を制裁対象に追加し、米国上院外交委員会において、ニカラグア選挙改革強化法案が可決された。パチェレ国連人権高等弁務官は、ニカラグアで「懸念すべき人権状況の急速な悪化」が起きているとし、米州機構（OAS）常任理事会においては、ニカラグア情勢にかかる決議が34か国中26か国の賛成により採択され、米州人権委員会がニカラグアの人権状況に関する報告書を発表した。フィッチレーティング社が、ニカラグアの信用格付け情報を更新し、外貨建て長期発行体デフォルト格付けを「B-」に維持する一方、見通しを「ネガティブ」から「安定的」に変更した。

### 【主な出来事】

#### 1 内政・外交

##### （1）クリスティアナ・チャモロ氏の逮捕

ア 1日夕刻、検察庁は、野党大統領候補者であるクリスティアナ・チャモロ氏（ビオレタ・チャモロ元大統領次女）に対し、「財産管理の乱用、及びマネーロンダリングにかかる虚偽申告で正式に告発するプレスリリースを発出した。さらに検察庁は、同氏の捜査のための予防的措置として「ニカラグア国外への出国、集会に参加、及び公職への就任を禁じる」ことを裁判所に要請し、2日午後、裁判所がこの要請を承認した。

イ 2日昼、マナグア裁判所は検察庁の要請を受け、事務所の家宅捜査とクリスティアナ・チャモロ氏の逮捕状を出した。

##### （2）モンカダ外相の米・SICA・墨外相会合出席

1日、モンカダ外相らニカラグア政府代表団は、コスタリカ・サンホセで開催された第1回SICA・墨・米外相会合に出席した。

##### （3）COVAX ワクチン・サミットへの出席

2日、ニカラグア政府の代表としてモンカダ外相とレジェス保健大臣は、我が国とGaviの共催で実施されたCOVAX ワクチン・サミットにバーチャルで出席した。

##### （4）アルトゥーロ・クルス氏の逮捕

5日、米国への訪問を終えて帰国した野党大統領候補者の1人であるアルトゥーロ・クルス氏は、マナグア空港にて警察に逮捕された。検察は「平和のための独立・主権・自決

の国民権利保護法」に基づく逮捕であり、警察が調査中であるとするプレスリリースを発表した。

(5) フェリックス・マラディアガ氏の逮捕

8日、野党大統領候補者の1人であるフェリックス・マラディアガ氏が国家警察によって逮捕された。国家警察はプレスリリースを発表し、「平和のための独立・主権・自決の国民権利保護法」に基づく取り調べのためであるとした。

(6) フアン・セバスティアン・チャモロ氏を含む反政府派4名の逮捕

ア 8日夕刻、野党大統領候補の一人として立候補していたフアン・セバスティアン・チャモロ氏が逮捕された。国家警察はプレスリリースを発表し、右逮捕は同日昼に逮捕された野党大統領候補フェリックス・マラディアガ氏の罪状(上記(5))と同じく、「平和のための独立・主権・自決の国民保護法」に基づく取り調べのためであるとした。

イ チャモロ氏の逮捕が発表された直後、国家警察はプレスリリースにて、民間企業最高審議会(COSEP)元代表のホセ・アダン・アゲリ氏及び政治活動家のビオレタ・グラネラ氏も逮捕した旨発表した。同2名の罪状もマラディアガ氏、チャモロ氏と同じである。さらに9日、国民連合(CN)幹部のホセ・パレ氏も同じ罪状で逮捕された。

(7) UNAMOS 党関係者6名の逮捕

12日から13日にかけて、48時間の間に国家警察は6名のUNAMOS党(旧MRS)メンバーであるドラ・マリア・テジェス氏(オルテガ革命政権時代の元保健大臣)、ビクトール・ウーゴ・ティノコ氏(オルテガ革命政権時代の元外務大臣)、ウーゴ・トーレス UNAMOS 党副代表(元サンディニスタ政権下の国軍司令官)、スイエン・バラオナ同代表、アナ・マルガリータ・ビヒル同幹部、タマラ・ダビラ同幹部(兼「青と白の国民連合」(UNAB)代表)を逮捕した。これらの逮捕に関して国家警察はプレスリリースを発表し、すべて「平和のための独立・主権・自決の国民権利保護法」に基づく罪であるとしている。

(8) 国内シンクタンク Funides 幹部の銀行口座凍結及び出国禁止

12日、オルテガ政権は国内シンクタンク Funides の幹部5名の銀行口座凍結と出国禁止を命じた。また、内務省は、11日にプレスリリースを発表し、Funides 事務局長を務めていた野党大統領候補フアン・セバスティアン・チャモロ氏の犯罪との関係、及び Funides 自体の「内務省の定める義務の重大違反」について、調査を行っているとした。

(9) ボラーニョス元大統領逝去

15日付政府プレスリリースにて、2002年から2007年まで大統領を務めたエンリケ・ボラーニョス・ハイエル元大統領（立憲自由党（PLC））が逝去した旨発表された。

(10) ロシア製ワクチンの到着

14日、ニカラグアに12万回分のロシア産ワクチン・スプートニクVが到着した。

(11) ミゲル・モラ氏などの逮捕

ア 20日、国家警察は、PRD党が擁立する大統領候補で反政府系ネットメディア「100% Noticias」の創設者であるミゲル・モラ氏を逮捕した。さらに21日、国家警察は、マリア・フローレス元PLC党副党首（アレマン元大統領の妻）、及びジャーナリストのミゲル・メンドーサ氏を逮捕した。すべて罪状は「平和のための独立・主権・自決の国民権利保護法」に基づくものである。

イ 同じく21日、国家警察は反政府系メディア「Confidencial」の代表であるカルロス・フェルナンド・チャモロ氏の自宅を強制捜索した。

(12) オルテガ大統領のカルロス・フォンセカ生誕85周年記念式典出席

23日、カルロス・フォンセカ生誕85周年記念式典に出席したオルテガ大統領は、約1時間にわたり演説を行った。

(13) ペドロ・ホアキン・チャモロ氏の逮捕

25日、ビオレタ・チャモロ元大統領の長男で元CxL党国会議員であるペドロ・ホアキン・チャモロ氏が、「平和のための独立・主権・自決の国民権利保護法」に基づき、「外国からの内政干渉を扇動した」などの理由で逮捕された。

(14) ニカラグア国会議長からの中国共産党100周年の祝電

30日、ニカラグア国会公式ツイッターにて、7月1日の中国共産党創設100周年を祝うグスタボ・ポラス・ニカラグア国会議長の祝電が公表された。

(15) 7月3日付市民監視団体の新型コロナウイルスに関する発表概要

ア 6月24日～30日の期間に全国で134件の感染及び感染疑いが報告され、累計18,123名となった。

イ 上記の期間にコロナウイルスの感染疑いで死亡した人は34名報告された。累計死者数は3,453名となった。

ウ これまで累計1,098名の医療従事者のCOVID-19感染疑いが報告され、また累計139名の死亡が報告された。

(16) 新型コロナウイルスに関する保健省(MINSA)の週間レポート

ア 6月29日から7月6日までの間に、保健省は283名のCOVID-19陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また189名がフォローアップ期間を終了した。

イ パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計6,819名に対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

ウ COVID-19感染者及びフォローアップ対象者の大多数は、様々な持病を抱えている。最も多いのは糖尿病、肥満、高血圧、心疾患、免疫不全、慢性腎不全、脳卒中の既往歴、肺結核及び慢性肺疾患である。

エ この1週間の間に、COVID-19に起因する1名の死亡が確認された。(累計死者数192名) また肺血栓感染症、糖尿病、急性心筋梗塞、高血圧及び細菌性肺炎によって、複数のフォローアップ対象者が死亡した。

オ 本日まで、6,344名のニカラグア人が回復した。

## 2 ニカラグアに関する海外情勢

### (1) 米国によるオルテガ政権に対する動き

ア 9日、米国財務省はカミーラ・オルテガ・ムリージョ国家経済委員会コーディネーター(オルテガ大統領夫妻の娘)、エドウィン・カストロ議員(与党FSLN党院内総務)、オビディオ・レジェス中銀総裁、フリオ・モデスト・ロドリゲス将軍(国軍年金機構の専務取締役)の4名のニカラグア政府関係者を制裁対象に追加した。

イ 22日、米国上院外交委員会において、ニカラグア選挙改革強化法案

(「Reinforcing Nicaragua's Adherence to Conditions for electoral Reform Act of 2021: 通称 RENACER 法」) が可決された。同法案は今後、上院本会議及び米下院にて審議にかけられる予定。

(2) OAS常設理事会におけるニカラグア決議の採択

15日、米州機構(OAS)常設理事会(オンライン形式)においてニカラグア情勢に関する決議が、34か国中26か国の賛成により採択された。

(3) メキシコ・アルゼンチンによる共同ステートメント

15日、メキシコとアルゼンチンは、共同ステートメントを発表し、ニカラグアの情勢に「懸念を表明する」としたうえで、内政不干渉の観点からOASの決議は棄権したと発表した。

(4) 第47回国連人権理事会における動き

ア 22日、バチエレ国連人権高等弁務官は、ニカラグア情勢に関する報告において、ニカラグアで「懸念すべき人権状況の急速な悪化」が起きているとし、自由で透明性ある大統領選挙が遠のいていると述べた。

イ また、同人権理事会において、21日、米、加、チリ、コロンビア、そして我が国など59か国が参加した「ニカラグアの人権状況に関する共同ステートメント」が読み上げられた。

(5) 米州人権委員会の報告書提出

23日に開催された米州機構(OAS)常任理事会において、米州人権委員会はニカラグアの人権状況に関する報告書を発表した。同じく23日、米州人権委員会はプレスリリースを発表し、米州人権裁判所に対し、ファン・セバスティアン・チャモロ氏、ホセ・アゲリ氏、フェリックス・マラディアガ氏、ビオレタ・グラネラ氏の権利保護のための暫定措置適用を求めるとした。

### 3 経済

フィッチレーティングス社による信用格付け

11日、フィッチレーティング社は、ニカラグアの信用格付け情報を更新し、外貨建て長期発行体デフォルト格付けを「B-」に維持する一方、見通しを「ネガティブ」から「安定的」に変更した。

<主要経済指標>

	2019年	2020年	2021年		
			4月	5月	6月
インフレ率（対前年同月）	6.1%	2.9%	1.46%	1.51%	2.24%
貿易収支（百万ドル）	▲1,655.6	▲1,559.9	▲303.8	未発表	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,696.8	2,852.0	304.8	未発表	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	4,352.4	4,411.9	608.5	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,682.4	1,851.4	170.8	187.1	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,397.4	3,211.9	3,474.3	3,623.9	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））

（了）